

図書室からのお知らせ

金光八尾図書室

令和4年5月31日 第272号

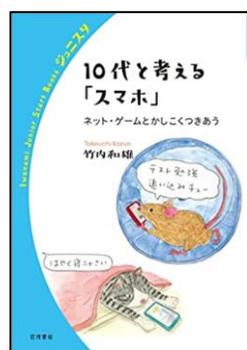
《新着本の紹介》



『ふしぎ現象事典』
マイクロマガジン社



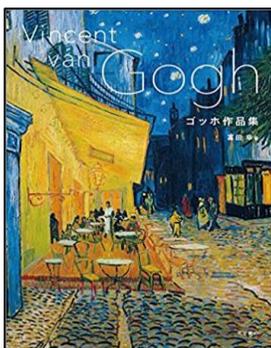
『ちびまる子ちゃんの俳句教室』
夏石番矢 集英社



『10代と考える「スマホ」』
竹内和雄 岩波書店



『わくわくほっこり和菓子図鑑』
君野倫子 二見書房



『ゴッホ作品集』
富田章 東京美術



『戦国武将の解剖図鑑』
エクснаレッジ



『とにもかくにもごはん』
小野寺史宜 講談社



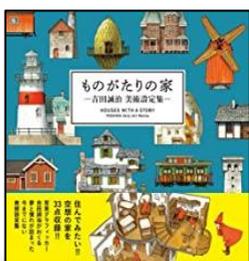
『ちはやふる 1-47』
末次由紀 講談社



『元彼の遺言状』
新川帆立 宝島社

* 今月号は図書室と新伝先生から皆さんにおすすめの本をご紹介します。気軽に図書室へどうぞ。

今の特集

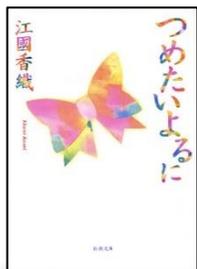


『ものがたりの家』

—吉田誠治 美術設定集—
吉田誠治 ハイ インターナショナル

「うわっ、ここ、行ってみたい・・・。」思わずつぶやいてしまうような空想の家を33点収録した、今までにない美術設定集です。たとえば、「階段堂書店」や「寡黙な整備士の別荘」、「几帳面な魔女の家」「水没した都市の少女」など、聞くだけで好奇心が刺激されませんか？それぞれに設定が細かく、実際にこの家も住人も存在していて、ここから物語が始まるんじゃないか・・・と、どんどん想像が膨らんでいきます。どこかで見たような家あり、ファンタジーの世界あり、歴史的な家あり・・・。とにかく、ページをめくるたびに新しい発見が！住人の職業やインテリア、小物類に至るまで見どころ満載。タブレットやスマホで簡単に本が読めてしまう時代になりましたが、やっぱり、紙の本っていいなあと思わせてくれる、そんな本に出会える幸せをぜひ味わって欲しいです。建築や家の間取りに興味がある人は必見ですよ。後半の線画ギャラリーは、美術大好きさんにもおすすめです。さあ、あなたのお気に入りの家は、どれですか？

私の1冊



『つめたいよるに』
江國香織 新潮文庫
(推薦者

国語科 新伝先生)

デビュー作の「桃子」を含む21編からなる短編集。

21編の中から特におすすめしたいのは、「デューク」という作品です。

登場人物である“わたし”が飼っていた、たまご料理と梨と落語が好きなデュークが亡くなってしまった。その翌日に、“わたし”が乗った電車でハンサムな男の子に巡り合う。なんとその男の子はデュークと好きなものが似ている…。

このように、21編それぞれの中に多種多様な「好きなもの」が散りばめられています。好きなものを持っているのは楽しい。好きな人がいるのは嬉しい。しかし、その喜びはいずれ悲しみに変わる。なぜなら、好きなもの・好きな人はいずれ消えてしまうから。生命は永遠ではないからこそ、はかなさや美しさがあるということを気付かせてくれる作品になっています。

なにか好きなものを探したい人、あたたかい気持ちになれる本が好きな人にはぜひおすすめです。

* 紹介した2冊はいずれも図書室にあります。